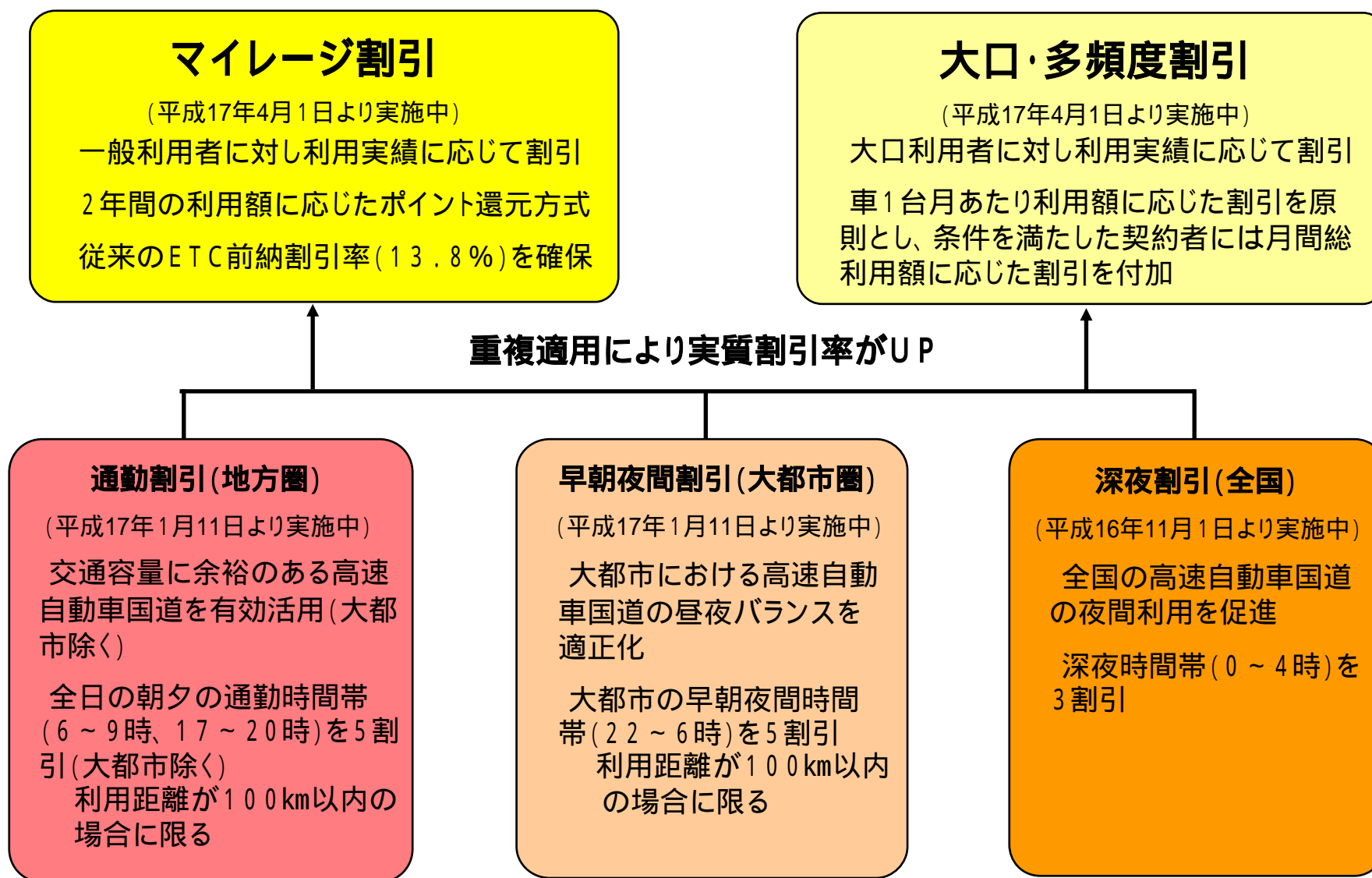


高速自動車国道におけるETC料金割引の 効果等について

有料道路別の主な割引制度の実施状況

		日本道路公団		首都高速道路公団	阪神高速道路公団	本州四国連絡橋公団
		高速自動車国道	一般有料道路			
頻度割引	一般向け	マイレージ割引 (平成17年4月1日～)	マイレージ割引 (平成17年4月1日～)	多頻度割引 (平成17年10月1日～)	マイレージ割引 (平成17年10月1日～)	マイレージ割引 (平成17年6月1日～)
	業務向け	大口・多頻度割引 (平成17年4月1日～)	大口・多頻度割引 (京葉・アクア) (平成17年4月1日～)	多頻度割引 (平成17年10月1日～)	多頻度割引 (平成17年10月1日～)	大口・多頻度割引 (平成17年4月1日～)
時間帯割引等		深夜割引 (平成16年11月1日～) ・午前0時～午前4時 : 30%割引 早朝夜間割引 (平成17年1月11日～) ・午後10時～翌朝6時 : 50%割引 通勤割引 (平成17年1月11日～) ・午前6時～午前9時 ・午後5時～午後8時 : 50%割引		夜間割引 (平成17年10月1日～) ・午後10時～午前6時 : 20%割引 平日オフピーク割引 (平成17年10月1日～) ・午前11時～午後3時 ・午後6時～午後10時 : 10%割引 休日割引 (平成17年10月1日～) ・日曜・祝日 : 全日20%割引	夜間割引 (平成17年10月1日～) ・午後10時～午前7時 : 10%割引 平日オフピーク割引 (平成17年10月1日～) ・午前11時～午後4時 ・午後7時～午後10時 : 10%割引 休日割引 (平成17年10月1日～) ・土曜・日曜・祝日 : 全日20%割引 阪神西線は半分の割引率	
キャンペーン割引	ETC普及促進	マイレージポイント2倍キャンペーン(17年度中)	マイレージポイント2倍キャンペーン(17年度中)	平日オンピーク時間帯3%割引キャンペーン(17年度中)	平日オンピーク時間帯3%割引キャンペーン(17年度中)	マイレージポイント2倍キャンペーン(6月、7月中) 終了
	民営化記念				休日マイレージポイント5倍キャンペーン(10月中)	淡路SA、与島PA往復割引(10月、11月中) しまなみ海道周遊チケット(10月、11月中)

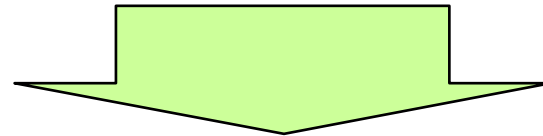
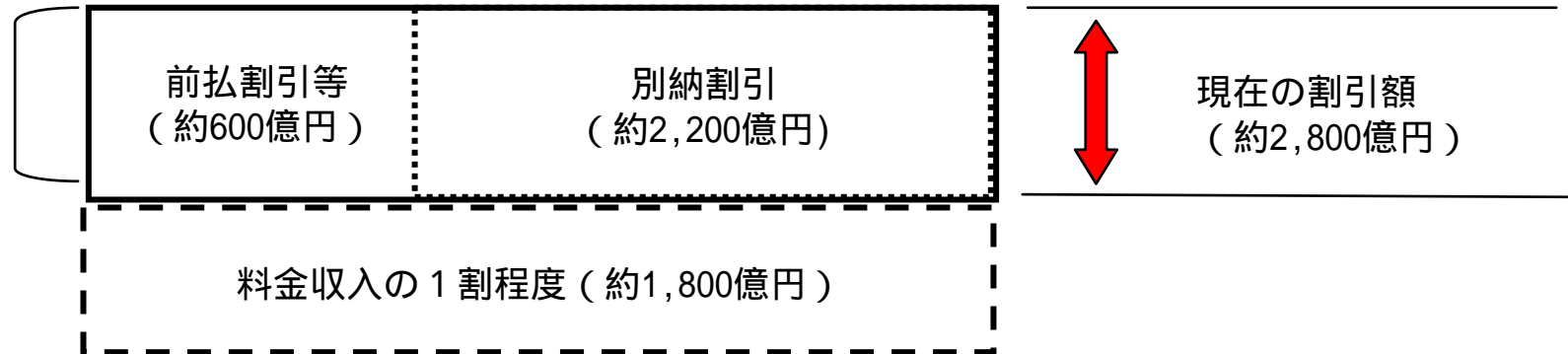
高速自動車国道のETC料金割引の内容



高速自動車国道の料金割引の概要

現在の割引

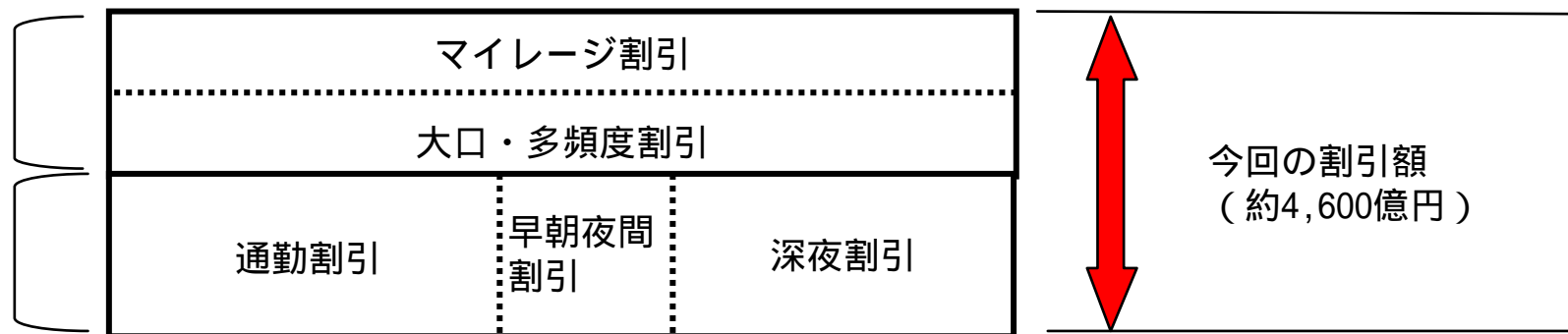
現在の割引制度



新割引制度イメージ

マイレージ型

時間帯型



高速自動車国道のE T C料金割引の実施状況

(単位:億円)

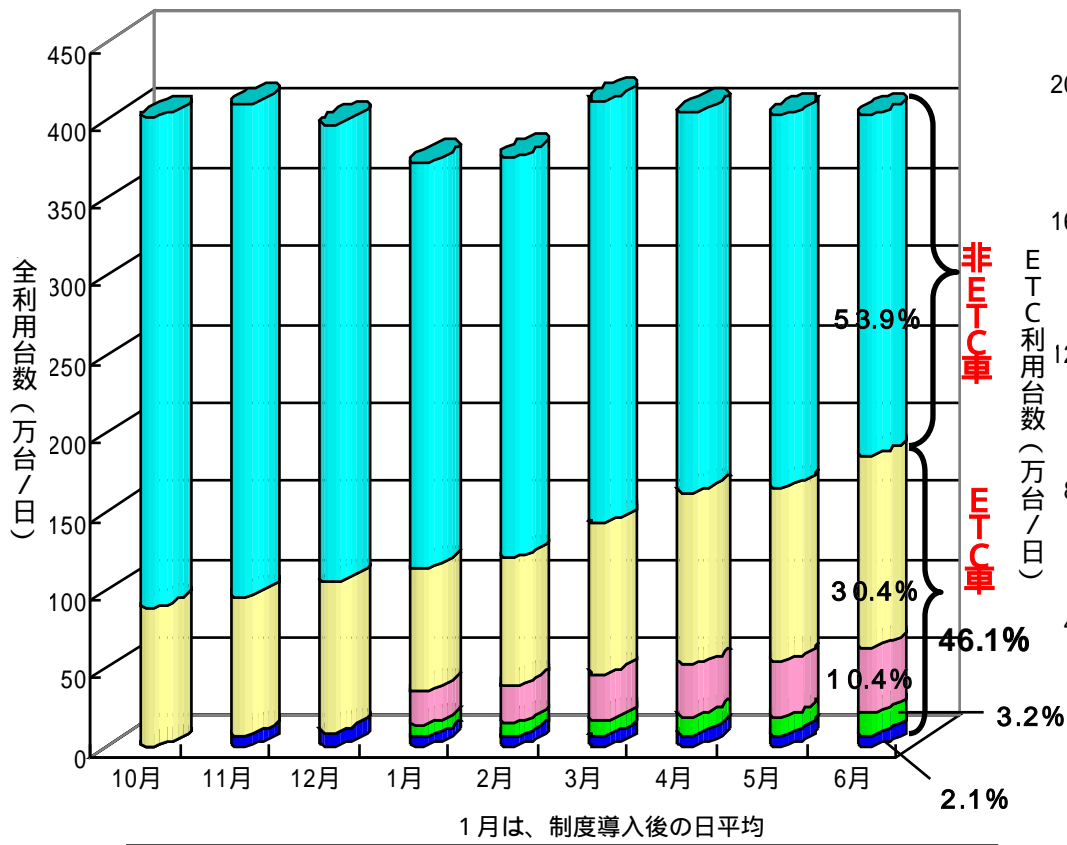
項目	H17.4~9末 (見込み)	H17.10~H18.3末 (予定)	計
時間帯割引	970	1,100	2,070
大口・多頻度割引	710	750	1,460
マイレージ割引	50	100	150
前払割引	220	200	420
利用促進策	100	300	400
その他	70	50	120
合計	2,120	2,500	4,620

マイレージ割引のポイント2倍キャンペーンを平成18年3月末まで継続及び別途E T C利用促進策(車載器購入支援等)を実施予定。

時間帯割引を享受している利用車の増加

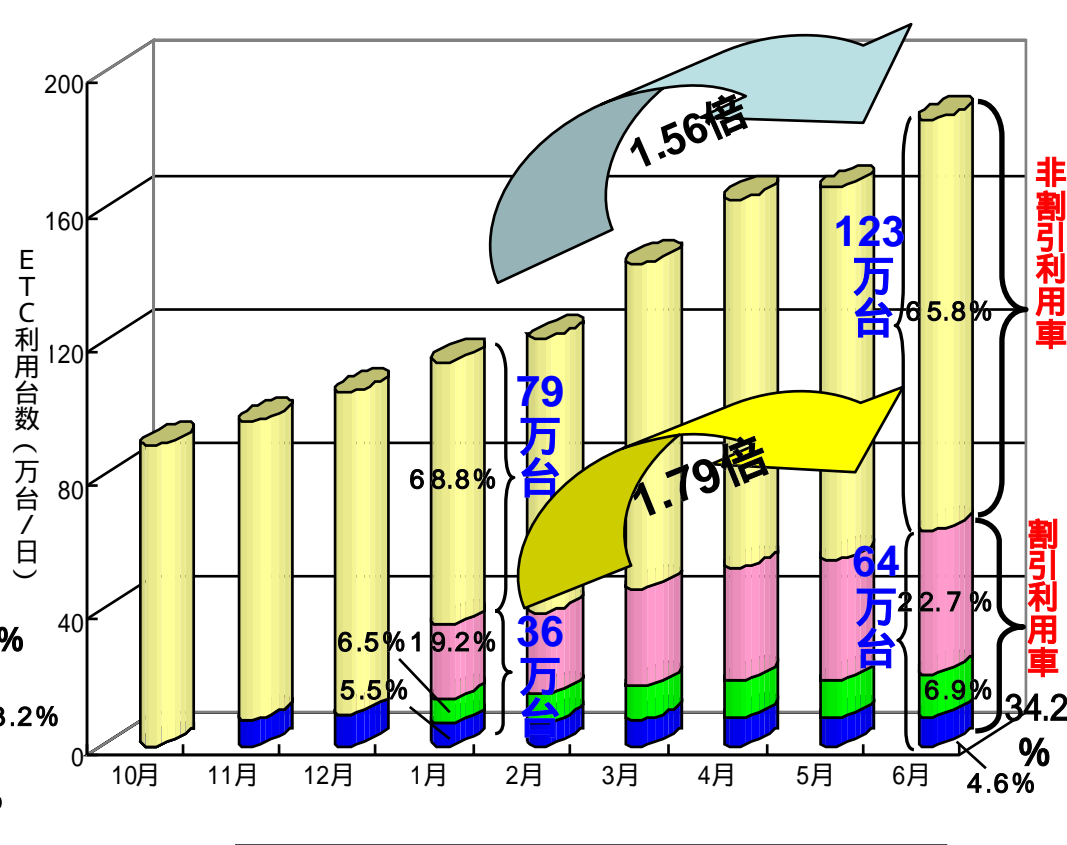
ETC利用者の3人に1人が時間帯割引を享受しており、ETC利用車に占める割引利用車の伸びが1.79倍と大きいことから、時間帯割引の実施によるETC普及促進効果があるものと考えられる。

図1 全高速自動車国道利用台数の経月推移



凡例 ■ 深夜割引 ■ 早朝夜間 ■ 通勤割引 ■ 非割引利用車 ■ 非ETC車

図2 ETC利用台数の経月推移



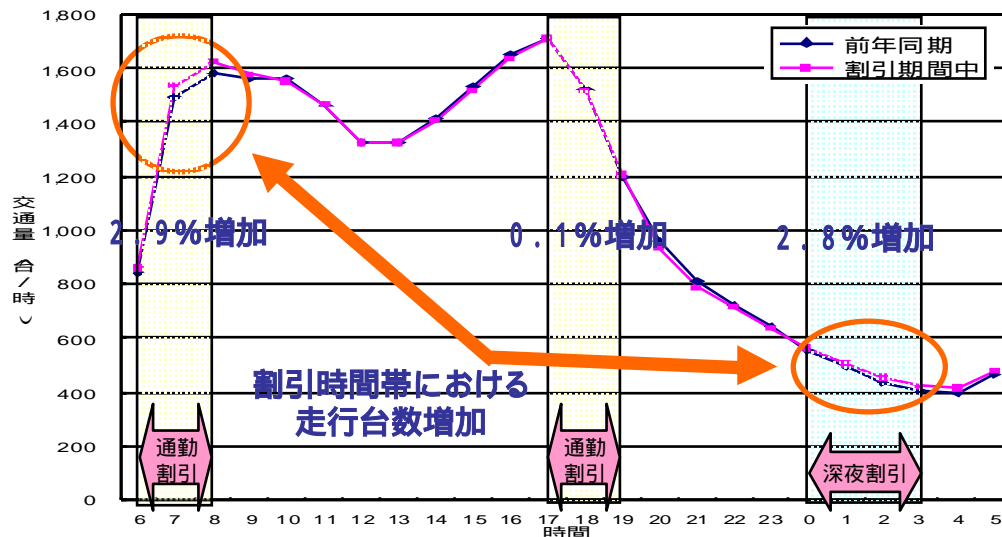
凡例 ■ 深夜割引 ■ 早朝夜間 ■ 通勤割引 ■ 非割引利用車

割引時間帯での高速道路走行台数が増加（１）

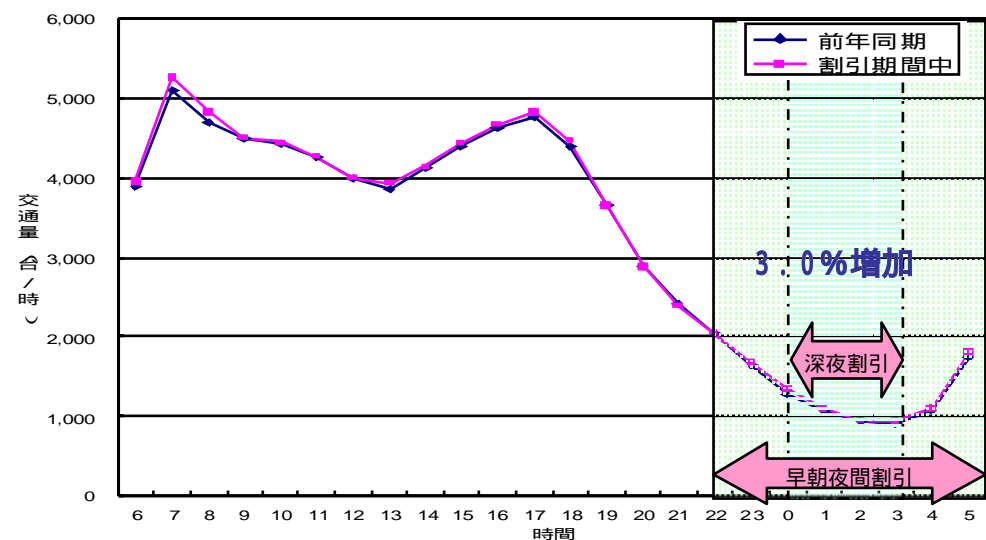
各割引時間帯における高速道路走行台数が増加（対前年比）。

- ・ **通勤割引・朝方時間帯**における走行台数は、**2.9%増加**
- ・ **深夜割引時間帯**における走行台数は、**2.8%増加**
- ・ **早朝夜間割引時間帯**における走行台数は、**3.0%増加**

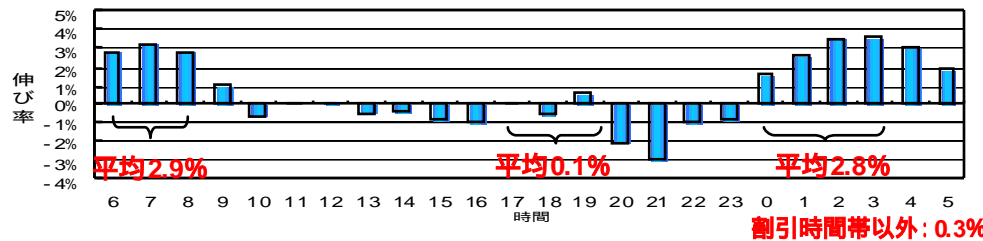
地方圏の時間走行台数
(通勤割引および深夜割引が適用される533区間の平均)



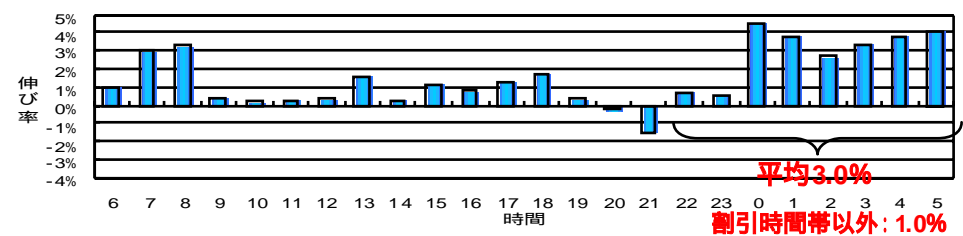
大都市圏の時間走行台数
(早朝夜間割引および深夜割引が適用される77区間の平均)



地方圏の時間走行台数伸び率(533区間平均)



大都市圏の時間走行台数伸び率(77区間平均)

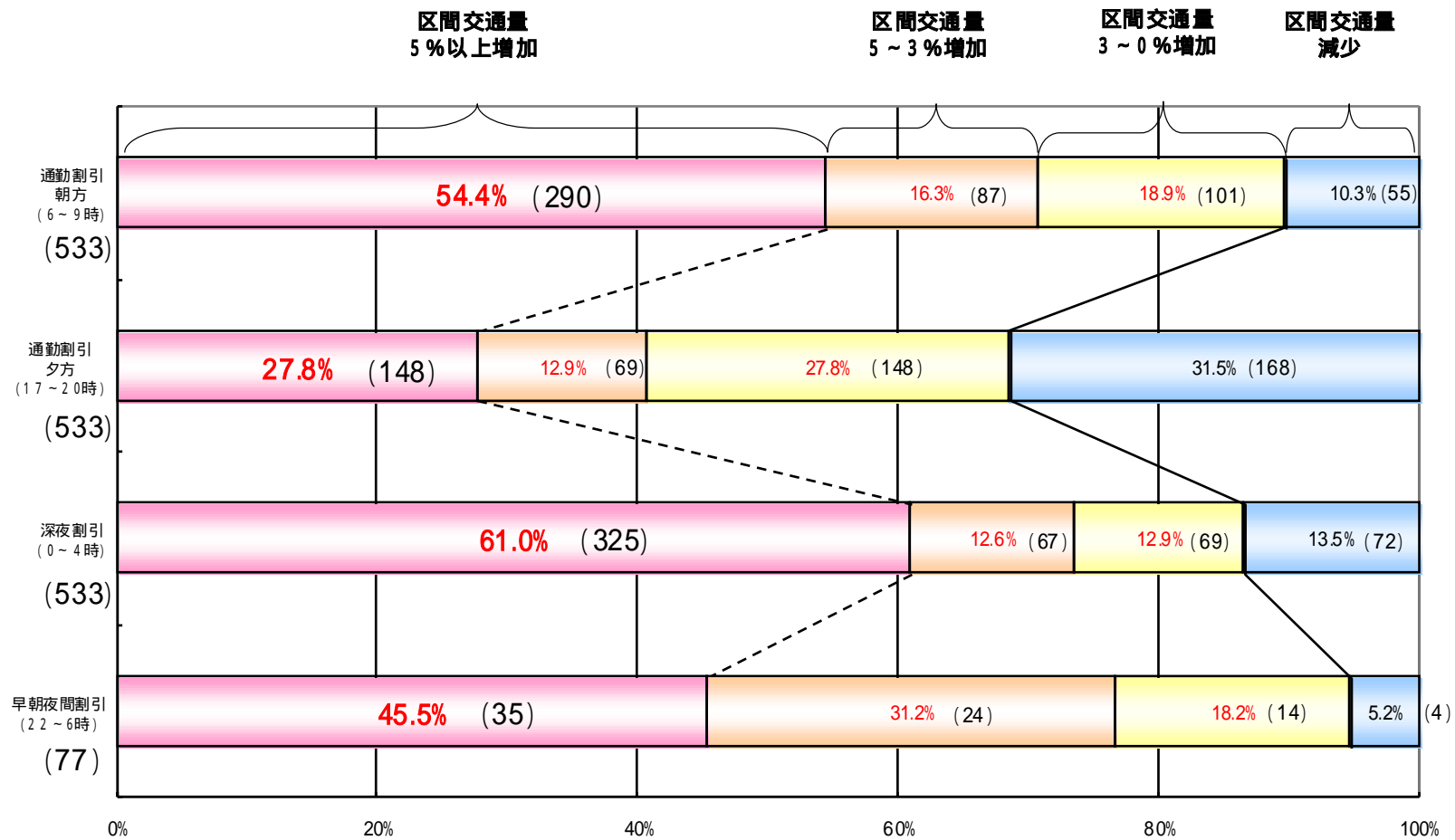


データの計測ができた評価対象区間: 533区間(大都市近郊以外)、77区間(大都市近郊)で計測 集計データ: 高速道路の車両感知器データ 集計期間: 平成17年3月および前年同期

割引時間帯での高速道路走行台数が増加（２）

インターチェンジ間の単位で見ても、多くの区間で高速道路走行台数が増加。
特に、**深夜割引**、**通勤割引（朝方）**の時間帯で顕著に増加。

割引実施期間における各インターチェンジ間の走行台数の変化

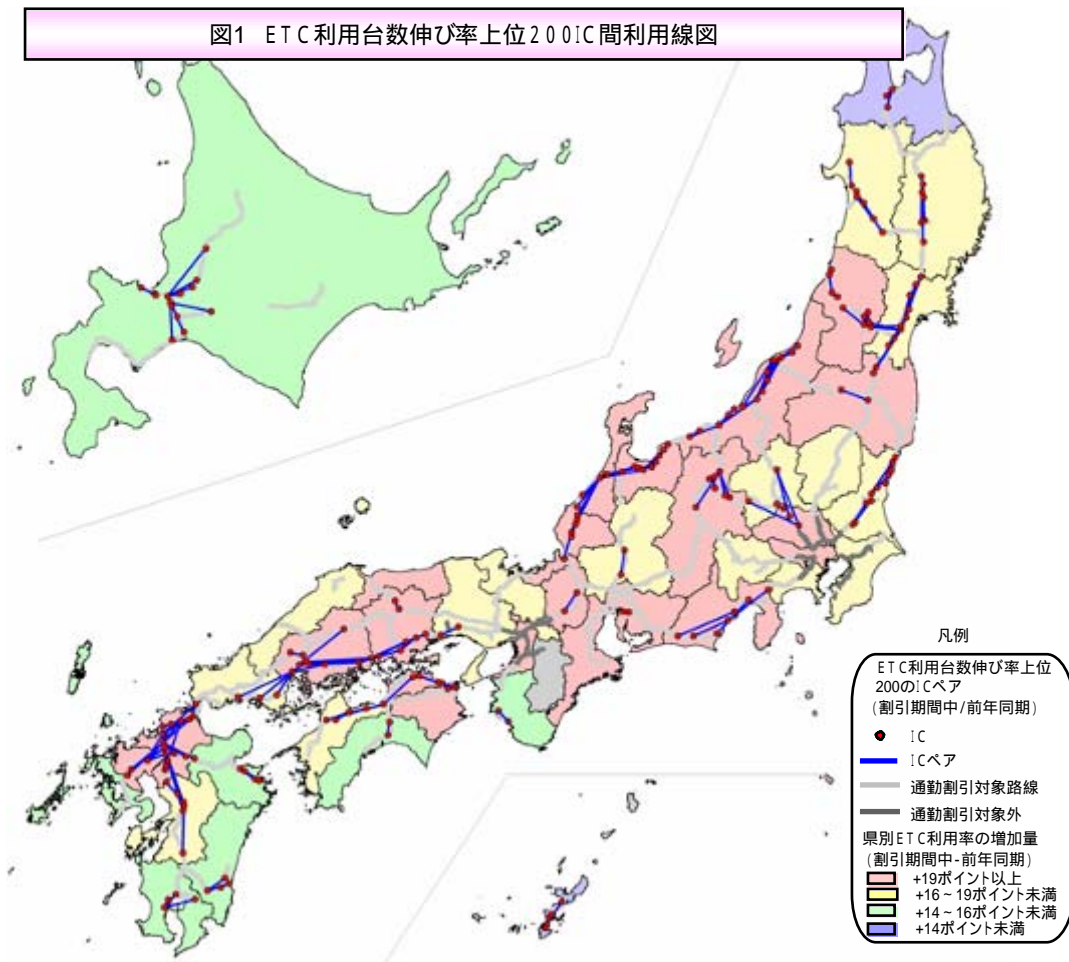


グラフ中の（ ）の数値は交通量データが入手できたインターチェンジ区間数を示す。
(集計データ：高速道路の車両感知器データ 集計期間：平成17年3月および前年同期)

地方都市にて高速道路の利用が進む：通勤割引

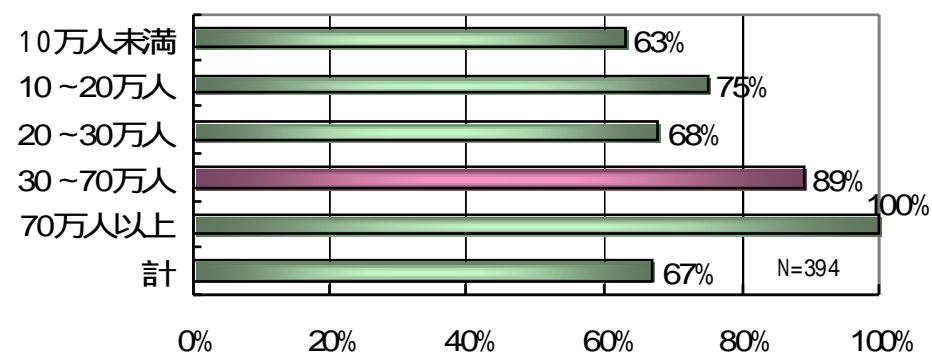
地方都市近郊において、ETC利用台数が大きく伸びている。インターチェンジ（IC）利用台数が大きく伸びた県では、ETC利用率の大幅な上昇がみられる。人口規模が30～70万人の地方中核都市（岡崎市、高松市等）および70万人以上の大都市（新潟市、名古屋市）にある交通量増加割合は大幅に上昇。

図1 ETC利用台数伸び率上位200IC間利用線図



集計データ：IC出入交通量データ 集計期間：平成17年3月および前年同期
1687 ICペア数のうち、前年同期に対する増加倍率の上位200位を抽出（ただし、ETC利用5台/日未満のICペアを除く）

図2 人口規模別交通量増加(5%以上)ICの割合



集計データ：高速道路の車両感知器データ 集計期間：平成17年3月および前年同期
533 IC区間について通勤割引時間帯(朝方または夕方)交通量が前年同期交通量を5%以上回った市町村単位(394市町村)で集計

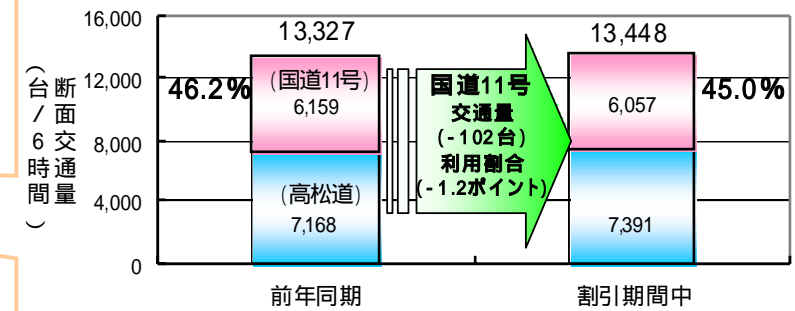
高松自動車道 善通寺～さぬき豊中（香川県）：通勤割引

通勤割引時間帯の一般道路交通量（国道11号）が減少し、かつ利用割合も1.2ポイント低下。
朝夕の通勤割引時間帯において、一般道路（国道11号）の旅行速度が上昇。

調査箇所



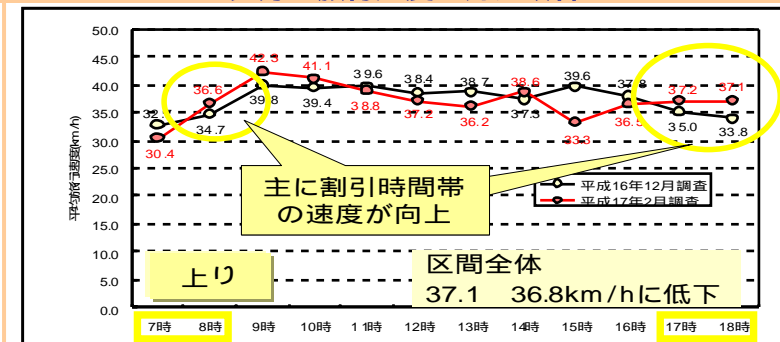
図1．善通寺～さぬき豊中における断面交通量の変化



集計データ 高速道路および一般道路の車両感知器データ
集計期間：平成17年3月および前年同期



図2．一般道路の旅行速度が上昇
夕方の旅行速度上昇が顕著



旅行速度調査日時 平成16年12月21日(火)および平成17年2月24日(木) 7時～19時

中央自動車道 園原（長野県）～中津川（岐阜県）：深夜割引

深夜割引時間帯の一般道路交通量（国道19号）が減少し、高速道路交通量（中央自動車道）が増加し、一般道路の利用割合も4.7ポイント低下
 夜間一般道路（国道19号）の交通事故発生件数が16%減少し、終日の事故率では18%減少
 時間帯別大型車交通量を見ると、一般道路で4時台に16%減少し、高速道路で2時台に12%増加

調査箇所

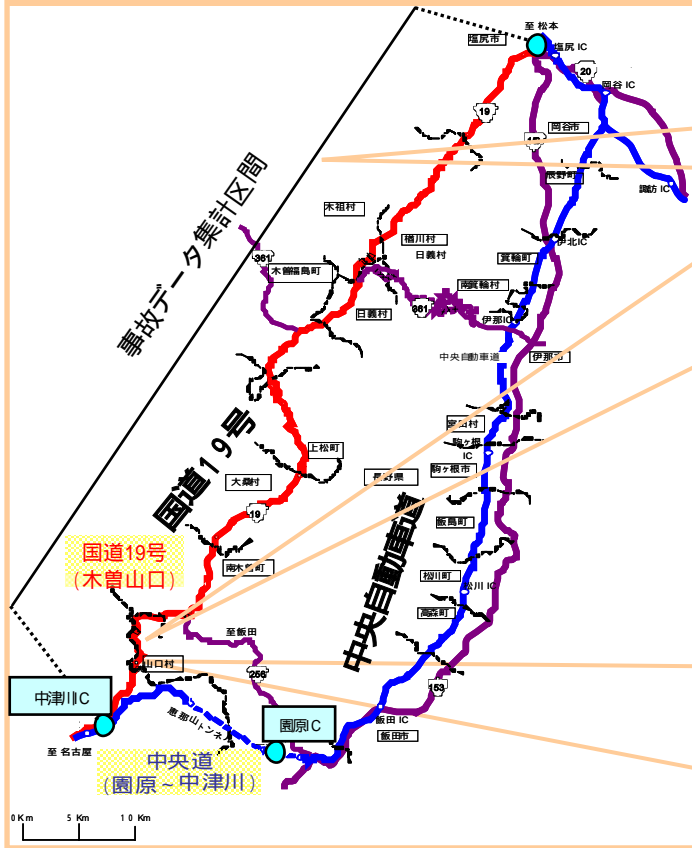


図1. 園原～中津川における断面交通量の変化

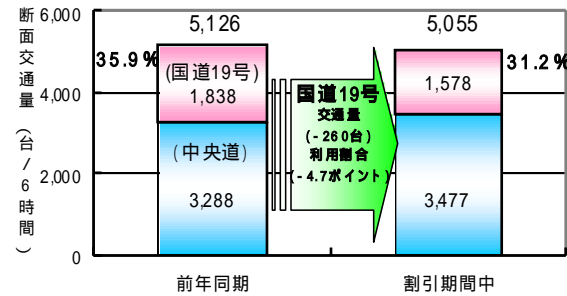
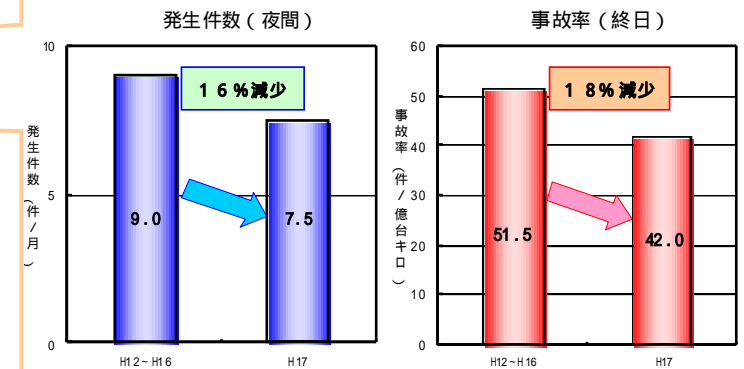


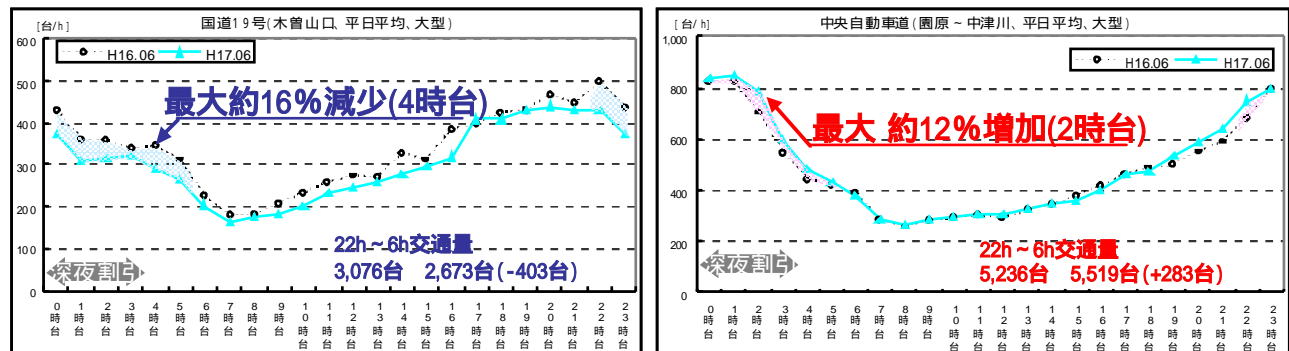
図2. 国道19号における交通事故発生件数（夜間）および事故率（終日）



集計データ：高速道路および一般道路の車両感知器データ
 集計期間：H17.6.27(月)～7.1(金)とH16.6.28(月)～7.2(金)の平日平均

集計データ：一般道路の事故データ
 発生件数：H12～H16とH17の上半期の夜間月平均（夜間：日没から日の出）
 事故率：H12～H16とH17の上半期の終日月平均

図3. 時間帯別交通量（大型車）の変化



集計データ：高速道路および一般道路の車両感知器データ
 集計期間：H17.6.27(月)～7.1(金)とH16.6.28(月)～7.2(金)の平日平均

時間帯割引の認知度（アンケート結果）

各時間帯割引の認知度は、ETC利用者では約7割以上であるが、ETC非利用者の約半数以下が割引の実施を認知していない。

ETC利用者

ETC非利用者

